

体積の合成・分解等をアニメーション機能で大きく提示

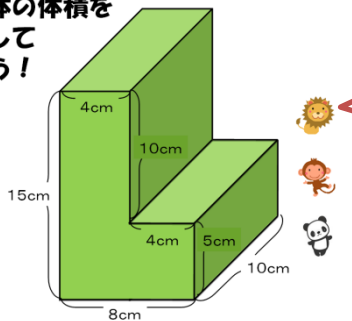
単元名「図形の体積」(5年)
東大阪市立高井田東小学校

ICT 活用のポイント

- 立体図形の体積を求める際に、自作した図形の資料をプロジェクタで大きく提示したり、いくつかの考え方を画面に見せることで、求め方の工夫を共有させる。

学習の流れ

この立体の体積をくふうして求めよう!

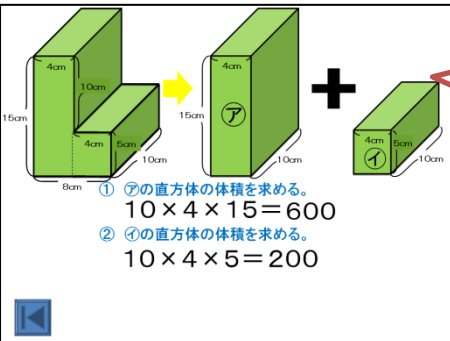


①前時までの復習をする。(立体図形の体積を求める式)

②左図のような立体図形をプロジェクタ(またはデジタルテレビ)で提示し、求め方を考える。

活用のポイント

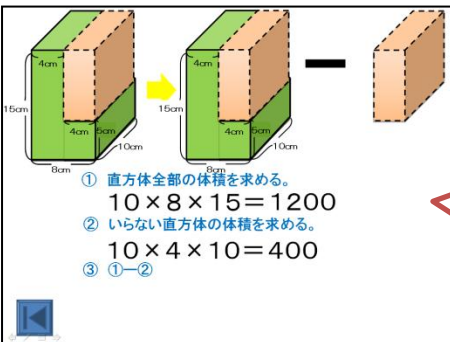
- 図形はあらかじめ自作したデジタルコンテンツをプレゼンテーションソフトに入れ、児童に求め方を考えさせる。



③考えた体積の求め方を発表し合う。式の求め方・計算までも順に表示しながら、答えを求めていく。

活用のポイント

- 3通りある求め方については最初の画面でハイパーリンクを設けて、画面に表示する。(ライオン・サル・パンダ)のイラストで別の画面に移って表示するように準備)
- 式の求め方・計算までも順に表示しながら、答えを求めていく。



④違う方法(3通り)について発表し、それぞれの方法でも同じ答えが求められることを画面の資料を見ながら理解する。

⑤学習プリントを配布し、3つの考え方をそれぞれ記入して、まとめる。

使用する機器・教材等

パソコン、プロジェクタ、スクリーン、デジタルテレビ、スキャナ等